

## 病院理念

- 1、私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 1、私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 1、私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



# 前立腺癌について



泌尿器科部長 坂倉 毅

## ■はじめに

2003年1月に天皇陛下が手術を受けられて以来、日本でも前立腺癌に対する認知は急速に高まりました。食生活の欧米化や高齢化を背景に前立腺癌は増え続けており、2020年には肺癌に次いで男性癌の2番目になると予測されています。前立腺癌は、早期に発見して治療すれば完治する可能性の高い癌であり、採血という簡便な方法でスクリーニングが行えることから、近年ではほとんどの自治体で「前立腺癌検診」が行われています。

## ■前立腺とは？

前立腺は男性だけにあるクルミ大の臓器で、膀胱の下で尿道を取り巻くように存在しています（図1）。昔は勃起機能に関係する臓器と考えられ、「前立腺」という名称の由来にもなっています。実際には、精液の一部（前立腺液）を作り精子の運動機能の保持に役立っています。「癌」以外の前立腺の病気としては、「前立腺肥大症」、「前立腺炎」などがあり、「尿が近い、出にくい」などの排尿症状を引き起こします。ただし、早期の前立腺癌に特有の症状はありません。

## ■早期発見のために

PSA（前立腺特異抗原）は前立腺で産生される物質で、前立腺に癌ができると血液中のPSAが増加することから検診に用いられています。PSAの基準値は一般的に4.0ng/ml以下とされ、10を超えると癌の疑いが高くなります。4から10の間はいわゆるグレーゾーンと呼ばれており、早期癌が隠れていることがあるため、特に若い方では積極的に癌の検索が必要です（表1）。



図1 前立腺

## ■前立腺針生検

PSAが異常値で癌が疑われる場合は、前立腺の組織を細い針での確率採取して、癌がないかどうかを顕微鏡で調べる検査（針生検）が必要です。痛みの少ない簡単な検査ですが、検査後に出血や尿閉、発熱することがあるので、当科では1泊2日の入院で行っています。平成21年度は242件施行しました。

トータルPSA濃度 (ng/mL)	前立腺癌の確率 (%)	PSA濃度 (%)	前立腺癌の確率 (%)
0~2	1	0~10	56
2~4	15	10~15	28
4~10	25	15~20	20
>10	>50	20~25	16
		>25	8

（表1）PSAの値と前立腺癌

## ■前立腺癌の治療法は？

他の癌と同様に、前立腺癌の治療法も早期癌か進行癌かで変わります。早期癌の標準的治療は手術で前立腺を摘出することです。これにより癌を根治できる可能性と正確な癌の進行度が分かります。PSA検診の普及とともに早期に癌が発見される例が増え、手術も増えています。当科でも平成21年度に28例の根治術を施行しています。高齢や体力的な理由などで手術が行えない場合は、次善の策として放射線治療（外照射）を行う場合もあります。局所療法の他の選択肢として、放射性物質を前立腺に埋め込む小線源療法がありますが、かなり適応は限定されるようです。また、最近では粒子線療法やHIFUなどの新しい治療も実験的に行われているようです。

一方、進行癌の場合は薬物による全身療法が基本となります。前立腺がんは進行が遅くて薬物療法（ホルモン療法）がよく効くので、根治はできなくても外来通院で長く治療を続けることが可能です。

## ■おわりに

PSAは採血でわかる簡単な検査です。50歳を過ぎた男性は年に1回はPSAを測定することをお勧めします。また、ごくまれにPSAが上昇しないがんもあるので、「尿が近い、出にくい」など排尿症状のある方は泌尿器科を受診されることをお勧めします。

# 『食育』～健康はバランスのよい食事から～



栄養科 調理師 中村 崇仁



「お子様ランチ (お弁当)」

「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることで

栄養科では病院給食を通じた食育活動の取り組みとして、入院中の幼児食を食べているお子さんに、週1回「お子様ランチ」を提供



「こどもの日の配膳風景 (兜)」

したいと思い、オマケ感覚でぬりえや折り紙などもつけています。

わたしたちは調理師という料理を作り提供する立場から、保護者の方と同じ目線に立って取り組んでいます。

お子様ランチについてのアンケート調査の結果、94.5%の方が「食育に興味がとてもある」、「少しある」と答えられました。少しでも興味を持たれている保護者の方々へ情報提供を行い、『食育』

を一緒に考えていきたいと思っています。入院中のお子さんにとっては退屈な病室ですが、外食に行った時に「お子様ランチ」が出てきた時のドキドキ・ワクワク感を少しでも味わっていただけたら嬉しく思います。

近年、食生活の変化や生活様式の変化に伴い、小児生活習慣病とよばれる症候群を有する子どもが増加傾向にあります。この問題を解決するため、食を通じた子どもたちの健全育成、すなわち『食育』の必要性が言われています。

『食育』とは様々な経験を通じて「食」に関する知識と



上「調理盛付け風景」



上下「食育推進メンバー」



「行事食お子様ランチ 左 (こどもの日)、右 (ひなまつり)」

## 薬の成分量について



薬剤供給科 主任薬剤師 今西 忠宏

薬の名前の後ろに「mg」と記載されているものがあります。これは薬に含まれる主成分の量を表しています。薬の名前は覚えていても成分量までは覚えていない方も多くかもしれません。

その薬が処方された医療機関以外を受診される場合、特にそこでいつもの薬と同等のものを処方してもらう時には、何mg入っている薬を服用しているのかを伝えることが重要です。処方される薬の種類は医療機関によって異なりますので、何mgの薬を服用しているのかを伝えないと、同じ効果の薬が処方できないかもしれません。

例えば、骨粗鬆症の薬では、同じ名前であるにも関わらず、一日一回服用する薬と一週間に一回服用する薬の二種類あるものがあります。薬に含まれる主成分の量によって服用方法が大きく異なる一例です。

複数の薬効成分が含まれていて何mgと記載しづらい薬もありますので、全ての薬に成分量が記載されている訳ではありません。複数の医療機関を受診される際には、使用している薬の名前だけでなく、成分量の記載があるものはそれも伝えるようにしましょう。覚えていなくても、薬の説明書などをお持ちいただければ良いと思います。

## 臨床検査技術科について



臨床検査技術科 技師長 江口 和夫



臨床検査技術科が担う検査は、患者さんから採取した血液や尿、便などを調べる検体検査と心電図や脳波、超音波検査など患者さんを直接調べる生理検査の2つに大きく分けられます。検体検査は、更に検査する内容や検査材料によって生化学免疫血清、血液、一般、輸血、微生物、病理検査の各検査部門に分かれます。

医師は、患者さんの病気の状態を調べるために各部門の検査内容に合った様々な検査を行います。検査から得られた情報は、病気の診断をつける為の補助的な役割を提供します。さらに患者さんの治療方針を決定したり、病気の進行度合を測ったり、薬剤の副作用を調べたり、治療効果を確認する為の役割も提供しています。



江南厚生病院臨床検査技術科は、1階の生理検査室、中央処置室の採血部門、2階の検体検査室に50余名の職員を配し、迅速で正確な検査結果を診療側に提供し良質な医療ができるように24時間体制で取り組んでいます。

次回以降、各検査部門の業務内容を紹介いたします。



## ニュース

ほてい・

春・おひろ



4月11日(日)、布袋神社において開催された「ほてい・春・まつり」に、地域との交流を深め、自身の健康について興味を抱いていたことを目的に参加してまいりました。穏やかな晴天と桜のもと、約100名の方が血圧測定をはじめ、健康相談、栄養相談にお立ち寄りくださり、盛況のうちにまつりを終えました。



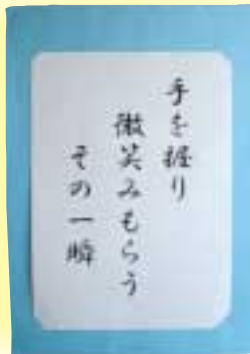
## 「看護の日 イベント」開催



5月11日(火)～5月14日(金)の4日間、当院の講堂にて「看護の日 イベント」を開催しました。分かりにくい場所にも関わらず、キティちゃんやダニエルくんを目印に200人余りの方が来場してくださいました。

このイベントは、今年で2回目です。昨年より規模を大きくし、地域の方に少しでも『看護の心を届けたい』という思いで企画をしました。健康相談、糖尿病相談、禁煙相談、助産外来相談のブースでは、各専門領域の看護師が相談を受けました。がん看護専門看護師、感染対

策認定看護師、訪問看護認定看護師、糖尿病療養指導士、ソーシャルワーカーが、ミニ講座を毎日開催しました。また、看護師が作った川柳はとても好評でした。皆さまのおかげで、とても有意義な4日間になりました。来年も楽しみにしててください。



看護師が作った川柳



## 花の日の慰問



6月8日(火)、江南幼稚園の園児120名が「花の日の慰問」に訪れてくれました。園児からの励ましの言葉に療養中の患者さんも感激されていました。



## 消火器・散水取扱訓練

4月22日(木)に今年度就職した新人職員を対象に消火器・散水栓取扱訓練が行われました。



総勢102名が参加し、緊急時に速やかに行動できるように消防士からの説明を熱心に聴き、実際に消火器・散水ホースを使用し、手順を確認しながら本番さながらの訓練でした。緊急時の皆さんの安全を確保し、冷静に誘導できるように今後も訓練を続けていきます。

## 2010年公開医療福祉講座

江南厚生病院では、地域住民の皆さまに向け、医療や福祉に関する情報を提供していく目的で講座を開催します。

今年度は、昨年度いただいたご要望にあわせて以下のような企画をしております。参加は自由ですので、どうぞお気軽にお越しください。

〈日程と内容〉

7月15日(木)	予防しよう! あなたにもわかる生活習慣病	副院長 野木森 剛
9月2日(木)	知って得する! 療養中の社会保障制度	医療ソーシャルワーカー主任 外山 弘幸
11月12日(金)	患者さんの 希望をつなぐ緩和ケア	がん看護専門看護師 祖父江 正代

## お知らせ

○場所：江南厚生病院  
2階講堂

○時間：13:00~14:00



お問い合わせは…企画室または医療福祉相談室まで TEL0587-51-3333

■「診療明細書」が不要な方はお申し出ください。

4月より医療費お支払いの際(自動支払機除く)、「診療明細書」をお渡しし、毎日大量の紙資源を消費しております。このことは、「エコ」に反するだけではなく、待ち時間の増大、個人情報漏洩の危険性もあります。「診療明細書」が不要な方は、ぜひ各外来窓口にてお申し出ください。

※後日、必要な場合は、いつでも発行いたします。

■地域周産期母子医療センターの認定  
平成22年4月1日より、当院は周産期母子医療センターの役割を担うことになりました。愛知県の周産期救急システムのなかの基幹病院の一つとして、正常妊娠・新生児の管理だけでなく、近隣の医療機関で発生する緊急搬送等、早産や難しいお産などもお引き受けする方針です。

■保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は、各外来受付か新患受付へ、また、入院中は各スタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、保険証・氏名・住所・電話番号等の変更がございましたら、新患受付か外来受付にお申し出くださるようお願いいたします。

## 診療日カレンダー

■ 休診日    ● 午後休診

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29	30		

## 編集後記

掲載希望の記事、ご意見、ご要望がございましたら、江南厚生病院広報委員会・事務局までご連絡ください。

江南厚生病院広報委員会